旅館ホテル・施設・団体

日本秘湯を守る会
定事社員総会開催
スタンプ帳、ウェブ事業推進
佐藤名誉会長が代表理事から理事に

日本秘湯を守る会（星雅彦会長、佐藤好億名誉会長、社員総数166）は12月16日、第46回定時社員総会を東京都港区で開いた。役員改選が行われ、佐藤名誉会長は代表理事を退任し、理事となった。スタンプ帳、ウェブの二つの事業を軸として運営を推進し、会の飛躍を目指す。

冒頭、星会長は「今年は波乱万丈の4文字に尽きる。朝日旅行という最良のパートナーを失った年となった。一方で、スタンプ帳の自主管理が始まるほか、懸案だった新しいウェブサイトも立ち上げた。これからは皆で支え合い、一般社団法人として稼ぎ、会のブランドを守ることが使命だ。日本の山、温泉文化を後世に残さなければならない」とあいさつした。今後、ウェブ事業では1軒1プラン365日展開を行い、実績を重ねていく方針を示した。佐藤名誉会長は「大きな流れの中にある。その中で朝日旅行はなくなったが、旅館業の社会的な役割は消してはならない。秘湯は人なり。取り組みを次世代につなげたい」と述べた。

星会長

佐藤名誉会長

20年度の事業報告では、新ウェブサイト「新秘湯Web」の11月1日からの開設、スタンプ帳（9万部）の発行、スタンプ帳による招待宿泊（6166人）、スタンプ分担金など精算業務の新規ソフト開発、環境省「新・湯治チーム」への継続参画などを報告した。

21年度の事業計画では、スタンプ帳事業の推進、るるぶとの提携を継続した公式ウェブ予約サイトでの販売増加への取り組みの加速、地熱対策のための温泉観測報告の実施、地熱発電開発問題への対応、日本温泉協会との連携活動などを行う。新秘湯Webでは、自社サイトのサイトコントローラーの構築を検討する。また、親会である日本の旅文化を創る会に属する日本源泉湯宿の会、日本文化遺産を守る会との三会合同事業をスタンプ、ウェブ領域で協業する予定だ。

新役員は次の通り（敬称略）。

代表理事・会長・星雅彦（自在館）▽理事・名誉会長・佐藤好億（大丸あすなろ荘）▽常務理事・副会長・遠藤哲也（桝形屋）▽理事・副会長・後藤英男（高峰温泉）▽同・檜澤京太（ゆもとや）▽理事・百瀬孝仁（中房温泉）▽同・佐々木義朗（丸駒温泉）▽同・佐藤大志（鶴の湯温泉）▽同・草野正人（大黒屋）▽同・清水正人（清流荘）▽同・畑山隆（清流荘）▽同・永井隆一（永井旅館）▽同・武石真澄（寒の地獄旅館）▽監事・小林正明（かど平旅館）▽同・奥山晃弘（奥山旅館）▽同・橘大和（旅館ひのえまた）

旅館協会 長野県支部
「コロナ禍を生き抜く」
感染防止、誘客テーマにセミナー

日本旅館協会長野県支部は12月8日に長野市のホテルメトロポリタン長野、9日に諏訪市上諏訪温泉のホテル紅やで「コロナ禍を生き抜く啓発セミナー」を開いた。医療と地域振興の専門家を講師に招き、コロナ下での感染防止対策と観光誘客、観光振興施策を学んだ。長野保健医療大学看護学部の塚田ゆみ子助教授と、国際観光施設協会旅館観光地分科会の川村晃一郎会長が講師を務めた。

塚田氏は「Withコロナ 守りと攻めの感染対策」をテーマに、ウイルスの基礎や新型コロナウイルスの最新情報、医学的見地からの感染防止対策と具体的な実施事例を解説。旅館・ホテルの現場で対応に迷ったときは、保健所など専門機関の指示を受けた上で対応すべきなどとアドバイスした。

川村氏は「コロナ禍における宿泊施設の新しい取り組み」をテーマに、コロナ禍での宿泊と観光市場の現状と課題を示すとともに、東京・浅草など、地域全体で取り組む各地の地方再生事例を紹介した。

上諏訪温泉「ホテル紅や」でのセミナー

人に優しい地域づくりをめざして ⑩
全旅連　第23回
人に優しい地域の宿づくり賞

新潟県旅館ホテル生活衛生同業組合（優秀賞）
サクラクオリティ導入による品質向上

新潟県旅館ホテル生活衛生同業組合は、宿泊施設の品質認証制度「サクラクオリティ」導入による組合員旅館・ホテル全体の品質向上と質の高い観光地づくりを目指している。

サクラクオリティは、宿のサービスの品質を第三者が調査し、認証する制度。快適性、安心安全、地域文化性、バリアフリー、海外対応など、さまざまな視点から調査。安全安心、清潔感を確保する「1サクラ」から、意匠性が高く、高いレベルの顧客配慮ができる「5サクラ」まで、5段階で認証される。

同県湯沢町などを圏域とする「一般社団法人雪国観光圏」が同制度をいち早く導入。その後、県全体で取り組み始めた。

制度についての勉強会を各地で開催。県内各施設が制度の認証を受けるための申請を行い、現在は同県旅館ホテル組合員施設で75軒、組合員施設以外も含めて80軒が各段階で認証されている。これは全国の県でもトップの取得数という。

「サクラクオリティは自館の通信簿」と同組合。「制度をうまく活用し、県内施設のレベルアップを図るとともに、施設を海外も含めて広くPRしたい」。

この欄は全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会主催の第23回「人に優しい地域の宿づくり」（厚生労働省後援）にエントリーし、各賞を受賞した、全ての人に優しい地域づくりを進める旅館・地域の先進例を紹介するコーナーです。

2020年11月の北海道宿泊実績（前年同月比）

地区		回答旅館軒数	宿泊人員（%）	売り上げ（%）
根室・標津・川湯・摩周温泉		7	96.1	95.5
知床 ウトロ温泉・岩尾別温泉		7	119.5	142.5
阿寒湖温泉		7	101.0	133.9
釧路・釧路近郊		2	79.3	80.5
十勝川・然別湖・帯広・帯広近郊		8	94.6	111.6
利尻・稚内		4	99.7	106.5
網走・網走湖・北見・温根湯温泉		8	91.4	93.4
大雪層雲峡・旭川・美瑛・富良野		10	88.6	99.8
登別温泉・カルルス温泉		7	74.3	90.1
洞爺湖温泉・支笏湖・日高・えりも		12	107.4	118.8
小樽・朝里川温泉・札幌・空知		10	70.8	73.2
定山渓温泉・小金湯温泉		8	54.3	100.1
余市・倶知安・ニセコ・岩内		7	70.4	88.2
函館・湯の川・松前・江差・八雲		13	85.6	104.3
合計	国内客宿泊人員	110	98.3	102.7
	訪日客宿泊人員	105	0.9	
		110	82.1	

旅館協会北海道の11月宿泊実績
売り上げ、前年上回る

日本旅館協会北海道支部連合会は12月10日、宿泊実績調査の11月の結果を発表した＝表。対象施設122軒のうち110軒が回答。前年同月比で宿泊人員は17・9%減、売り上げは2・7%増となった。Go Toトラベルキャンペーンによる集客効果が続き、宿泊人員は前月に続き減少したが、売り上げは前年同月を上回るまで回復した。

宿泊人員の月別の前年同月比は、8月が46・8%減、9月が35・2%減、10月が15・5%減で推移していた。

11月の宿泊人員の内訳は、訪日客は入国制限などが続き前年同月比91・1%減だが、国内客は同1・7%減と、前月に続き前年並みの水準を維持した。

Go Toトラベルキャンペーンの効果もあり、前月に続き集客は堅調に推移したが、札幌市が同キャンペーンの対象外となり、新型コロナウイルス感染者が増加したことでキャンセルが発生し始めた。

回答旅館からは、11月の動向について次のような声が上がった。

「予約状況は順調だったが、11月上旬に札幌発着のGo To利用制限が出てからキャンセルが相次ぐ。新規予約もぱったり泊まった」

「土曜日の入り込みのみGo Toが多く利用されたが、平日はGo Toが使えないビジネス客が中心だった」

「Go Toトラベル北海道除外が一度報道されてからじわじわとキャンセルが発生している」

「コロナのステージが上がってから新規予約が入らなくなった」

「12月以降の予約がさっぱり。特に2月以降。先行きが不安」

諏訪湖畔で上質な空間を提供
「かたくらシルクH」、4月開業
片倉興産

外観（写真上）とKATAKURA室内（ともにイメージ）

片倉興産（東京都中央区）はこのほど、運営する「かたくら諏訪湖ホテル（長野県諏訪市）を全面的に改装し、「かたくらシルクホテル」として4月下旬に新規開業する。養蚕、製絹業を創始して以来、シルク（絹）を通して日本の魅力を発信してきた同社が、諏訪湖畔で過ごす上質な滞在空間を提供する。

同ホテルは4階建てで、昭和初期の洋風建築の要素を館内に取り入れた。客室数は10室で、全室露天風呂付き。クラシカルな雰囲気の「KATAKURA」、開放感のある眺望が特徴的な「RO」など、個性あふれる客室を用意した。客室内には、地元企業と連携し、「SUWAプレミアム」の名を冠したペンやガラス製品を配備。シルク51%の混合素材でつくったボディタオルを置くなど、同ホテルならではの客室備品も導入する。

レストランでは、鉄板焼きスタイルでのステーキコース、和を取り込んだ創作フレンチ料理などを提供予定。米や卵、牛肉や野菜など、地元産の食材を幅広く取り入れる。

1月18日から予約を開始する予定。問い合わせは、☎0266（52）2151。詳細は「https://www.katakura-silkhotel.co.jp」に掲載。

飛騨牛に特化した宿泊プラン販売
睦館

睦館（岐阜県下呂温泉）はこのほど、特選飛騨牛に特化した宿泊プラン「トリプルA4飛騨牛200g！ 一人旅皇帝プラン」を発売した。平日の宿泊率が高い30代から40代までの男性の集客を図る。

同プランの夕食では、最高級の飛騨牛を、朴葉（ほおば）味噌を絡めた「朴葉味噌焼き」、飛騨牛本来のうまみを引き出す「ミニステーキ」、だしを絡めた「すき焼き」で提供＝写真。飛騨地酒など飲料メニューのアイテム数を2倍に増やし、平日の男性一人旅需要に応じたもてなしを提供する。

料金は1泊1人当たり2万500円（消費税、入湯税別）から。問い合わせは、☎0576（25）3100。

旅館協会東北11月の宿泊実績
人員減も、売り上げ増

日本旅館協会東北支部連合会はこのほど、宿泊実態調査の11月の結果をまとめた＝表。対象施設105軒のうち100軒が回答。東北6県合計の宿泊人員は前年同月比7・4%減、売り上げは同0・9%増となった。宿泊人員は前月に引き続き減少したが、売り上げは前年同月を上回るまで回復した。

宿泊人員の月別の前年同月比は、Go Toが始まった7月が43・6%減、8月は45・1%減、9月が20・8%減、10月は7・8%減と回復し、11月は前月と同程度の減少となった。

売り上げの月別の前年同月比は、10月が同3・0%減だったが、11月に入り増加に転じた。

11月は、Go Toトラベルキャンペーンを利用した集客が堅調に推移したが、新型コロナウイルス感染再拡大に伴い、忘年会や新年会などを含む年末年始の宿泊需要の消失が懸念された。

2020年11月の東北宿泊実態調査の結果

	回答施設数（軒）	宿泊人員 前年同月比（%）	売り上げ 前年同月比（%）	外国人宿泊者数（人）	1～11月累計宿泊人員 全体 前年同月比（%）	1～11月累計宿泊人員 うち外国人 前年同月比（%）
青森県	11	106.0	102.7	4	59	20
岩手県	23	93.0	101.9	4	65	24
秋田県	6	118.0	118.3	0	64	19
宮城県	22	85.4	91.8	2	55	26
山形県	19	103.8	111.5	3	62	36
福島県	19	84.4	91.9	0	59	34
合計	100	92.6	100.9	13	60	24

よその旅館ホテル

湯宿 湯之谷温泉（愛媛県・西条市）
東矢 英二さん　1058

Q&A

—創業は。

「大正元年の創業。約1400年前に斉明天皇が入湯されたという伝説が残り、その源泉をベースに源泉掛け流しの湯を提供しております」

—温泉の特徴は。

「敷地内に自然湧出する上質な自家冷鉱泉で、泉質は弱アルカリの単純泉です。15年前には新しい温泉に。古い温泉も現存し、中を内覧できるほか、温泉ライブの会場としても使用されています。また、無料開放している足湯もあります」

—施設は。

「湯治場として使われていた施設を約8年前に改装しました。離れ、露天風呂、露天風呂付きの部屋などを設けています。トイレも全て個室化しました」

—食事の特色は。

「地元西条産にこだわり、料理長が名水百選で育まれた季節野菜や瀬戸内で水揚げされた取れたての魚を仕入れ提供しています。米は愛媛一のブランド米である宇和島産の『三間米』を出しています」

—客層は。

「お遍路さんの64番札所『前神寺』がルート沿いにあり、春から秋にかけて多くの旅人でにぎわいます。秋口には登山客も多く、露天風呂付き客室を目当てに広島、関西からも大勢集います」

—地域の魅力は。

「石鎚山の伏流水である日本名水百選『うちぬき水』が流れ、とにかく水がおいしいです。石鎚酒造など蔵元もあり、利き酒セット（1100円）は皆さま必ず頼まれます」

—一方、課題は。

「スタッフの高齢化が今後の課題です」

—将来は。

「古きを生かし、新しさを取り入れ、バリアフリー対応も時代に合わせてできる範囲で行っていきます」

【13室、平日1泊2食9900円から（税込み）】

＝隔週掲載

石鎚の名水を育む湯宿